令和７年度　自動車騒音常時監視調査結果

平塚市では、令和７年度に市内の幹線交通を担う道路８区間の沿道における騒音の状況を調査し、騒音に係る環境基準の達成状況について明らかにするため評価を行いました。

測定結果及び評価結果表

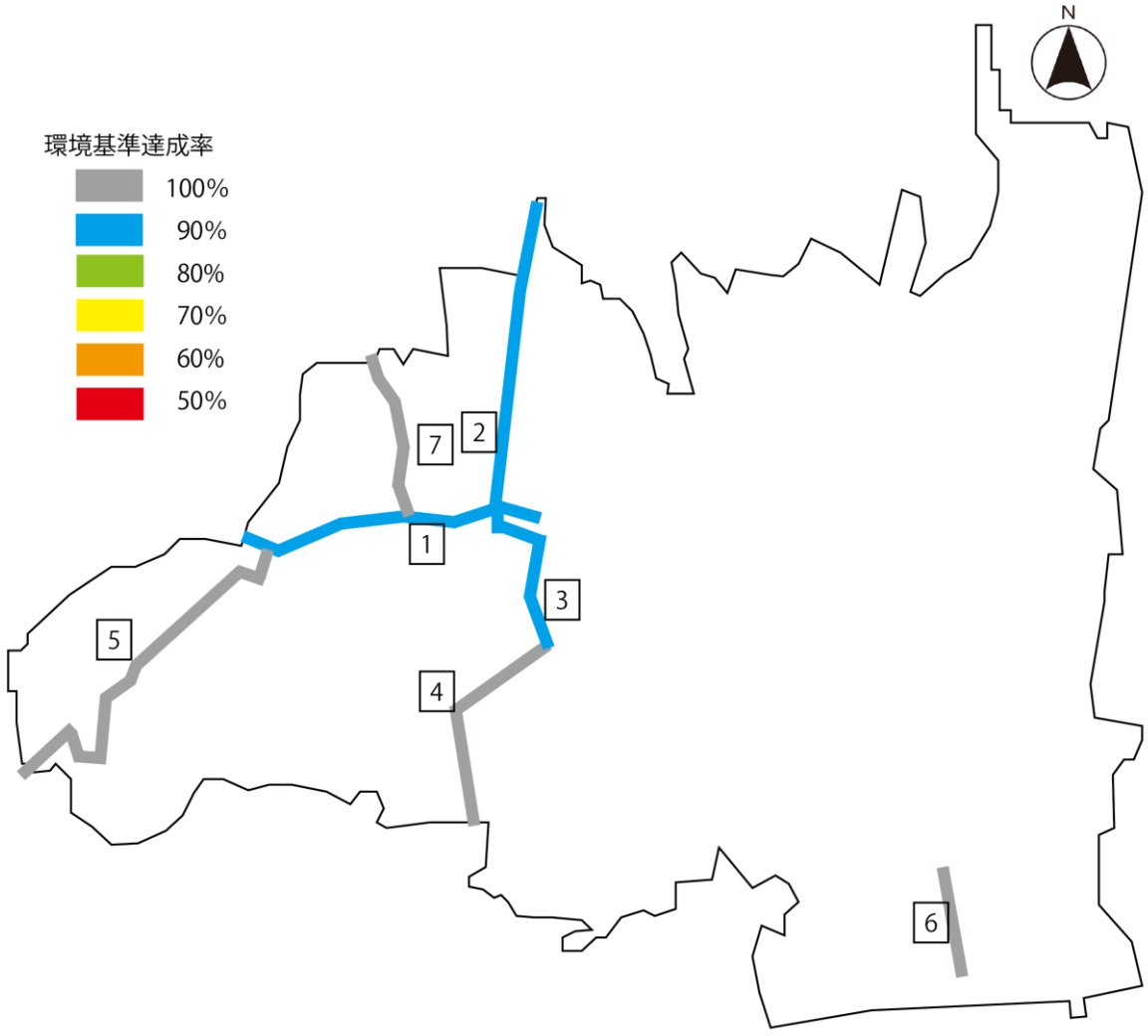
図中番号	評価年度	道路名（調査単位区間番号）	測定地点	騒音測定値（L_{Aeq}）※1 (dB)		環境基準達成率(%)※2		
				昼間	夜間	昼夜とも	昼間	夜間
1	R7	平塚秦野線（44830）（44840）	南金目 907	68	65	99.4	100.0	99.4
2		相模原大磯線（45050）	南金目 1259	71	67	99.1	99.8	99.1
3		相模原大磯線（45060）	広川 775	67	64	96.1	97.3	96.1
4		相模原大磯線（45070）	上吉沢 63	63	60	100.0	100.0	100.0
5		平塚松田線（47210）	土屋 991-3	65	58	100.0	100.0	100.0
6		平塚停車場袖ヶ浜線（69010）	夕陽ケ丘４	57	50	100.0	100.0	100.0
7		上粕谷南金目線（69830）	北金目 2-37-10	65	59	100.0	100.0	100.0

※１：市内の幹線交通を担う道路８区間を選び、自動車騒音の測定を７地点にて行いました。測定値は昼間、夜間それぞれの等価騒音レベル（L_{Aeq}）として表します。等価騒音レベル（L_{Aeq}）とは、騒音レベルが時間とともに変動している（音が大きくなったり小さくなったりする）とき、これと等しいエネルギーをもつ一定の騒音レベル（定常騒音）に直したらどの程度のレベルになるかを表したものです。

※２：自動車騒音の測定値をもとに、道路の端から50mの地域に立地する住居ごとに騒音レベルを推計し、環境基準値を下回った戸数が全住居戸数の何%になるかを表したものです。なお、環境基準値はそれぞれの住居が立地する都市計画用途地域、道路の種類や車線数、道路からの距離によって決まります。

市内の幹線交通を担う道路の環境基準の達成状況（令和７年度）

環境基準達成状況図



（注）図中の囲み文字（1～7）は、測定結果及び評価結果表の「図中番号」と対応しています。